

Nutanix (AHV) 手順書

Nutanix NX シリーズ版

Rev. 2.0

ダイワボウ情報システム株式会社
ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社

目次

免責事項	4
1. はじめに	5
1.1 本手順書について	5
1.2 対象となる製品・バージョン	5
1.3 作業の流れ	5
2. 事前準備	6
2.1 操作端末の用意	6
3. Nutanix の起動	7
3.1 Nutanix NX の起動	7
3.2 IPMI からのステータス確認	7
3.3 ハイパーバイザー(AHV)へのログイン確認	10
3.4 CVM へのログイン確認	11
3.5 Nutanix クラスターの起動	12
3.6 Prism Element へのログイン	13
4. 設定内容の確認	14
4.1 AOS バージョンの確認	14
4.2 ノード数・ノードの IP アドレスの確認	15
4.3 クラスター名とクラスター仮想 IP アドレスの確認	17
4.4 Redundancy Factor の確認	18
4.5 NTP、DNS サーバーの確認	19
4.6 Pulse 設定値の確認	21
4.7 ストレージコンテナの確認	22
5. Prism Central のデプロイ・設定	24
5.1 Prism Central のデプロイ	24
5.2 クラスターの登録	29
5.3 Prism Central への SSH ログイン	31
5.4 Prism Central の停止	32
5.5 Prism Central の起動	33
6. Nutanix の停止	34
6.1 Nutanix クラスターの停止	34
6.2 CVM のシャットダウン	35
6.3 ハイパーバイザー(AHV)のシャットダウン	35

7. 参考情報	37
7.1 Prism Element の日本語化	37
7.2 サポートポータルユーザー登録について	39
7.3 オーソライズド・ドメインについて	39
7.4 ライセンス適用について	39
7.5 ハイパーバイザー、CVM のパスワードについて	39
7.6 Nutanix 社への問い合わせについて	39
7.7 Nutanix リンク集	39
8. 改訂履歴	41

免責事項

- 本文書は、2024 年 7 月 1 日時点の情報に基づき作成されたものです。本文書作成以降にリリースされたバージョンにて、仕様の追加・変更・削除が行われている場合がございます。正式な仕様は Nutanix サポートポータルに掲載されたリリースノートや最新の製品ドキュメントをご参照ください。
- 本文書の記述が正確なものとなるように努めました。本文書に含まれるすべての情報が完全に正確であることを保証するものではありません。また、本文書の内容に起因する直接的および間接的な損害に対してダイワボウ情報システム株式会社、およびディーアイエスサービス&ソリューション株式会社は一切の責任を負いません。
- 本文書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本文書に記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

1. はじめに

1.1 本手順書について

本手順書は弊社 Nutanix Foundation 作業にて設定した Nutanix を設置・起動し、設定の確認に必要な手順を記載したものです。

1.2 対象となる製品・バージョン

本手順書では以下の製品に対する手順を記載しています。異なる製品、バージョンをご利用の場合は、手順が一部異なる可能性がありますので、ご注意ください。

Nutanix ノード	Nutanix NX シリーズ
ハイパーバイザー	AHV
AOS	6.5 (LTS)

1.3 作業の流れ

本手順書は、以下の流れで作業を実施する際の手順を記載しています。

- Nutanix の起動
- 設定内容の確認
- Prism Central のデプロイ・設定
- Nutanix の停止

2. 事前準備

2.1 操作端末の用意

Nutanix の操作、確認作業に使用する操作端末(PC)をご用意ください。

本手順書では、ブラウザを使用して Nutanix の Web 管理画面である Prism と、Nutanix NX の管理エンジン/ツールである IPMI にアクセスします。操作端末に以下のブラウザがインストールされていることをご確認ください。本手順書では Google Chrome を使用しています。

〈Prism サポートブラウザ〉

- Google Chrome
- Firefox
- Safari
- Microsoft Edge

また、操作端末から CVM、ハイパーバイザー(AHV)に SSH 接続しますので、ターミナルソフトがインストールされていることをご確認ください。本手順書では TeraTerm を使用しています。

操作端末が、CVM、ハイパーバイザー(AHV)、IPMI にアクセスできるようなネットワーク環境をご準備ください。

3. Nutanix の起動

Nutanix NX の電源を投入し、Nutanix を起動します。

3.1 Nutanix NX の起動

前面の電源ボタンを押し、起動させます。全てのノードに対して実施します。

※ご利用のモデルによって、電源ボタンおよび電源ランプの位置や形状が異なります。詳細につきましては、「[7.7 Nutanix リンク集](#)」のハードウェア仕様のホームページを参照ください。



例：NX-1175S-G8 の電源ボタン



例：NX-1065-G9 の電源ボタン
(ノード毎に電源ボタンが存在します)

ハイパーバイザー(AHV)、CVM が起動するまで 10～15 分間待ちます。

3.2 IPMI からのステータス確認

IPMI に操作端末のブラウザからアクセスすることで、サーバーのステータス、コンソール画面を確認することができます。IPMI へのアクセスに必要な情報は以下の通りです。

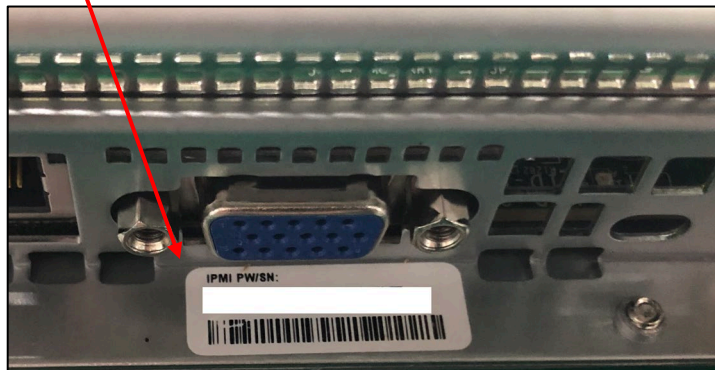
IPMI ログイン情報

URL	https://「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた IPMI のIPアドレス
ユーザー名	ADMIN

パスワード
※サーバー毎に異なります

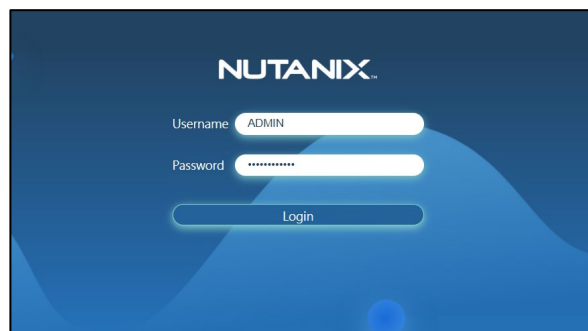
サーバー背面のディスプレイポート下に貼られているシール(下図)をご参照ください。

「IPMI PW/SN」の後の英数字がパスワードです。

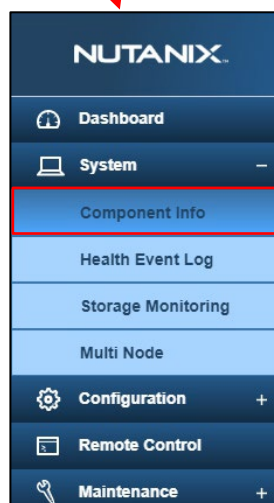
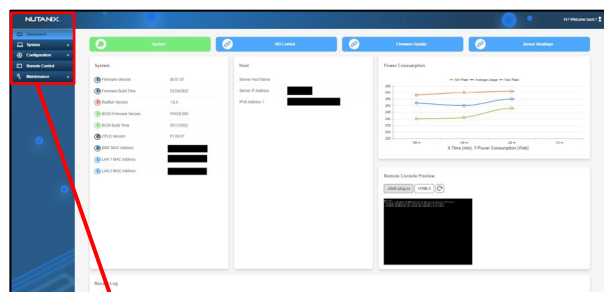


以下の手順にて IPMI にアクセスします。

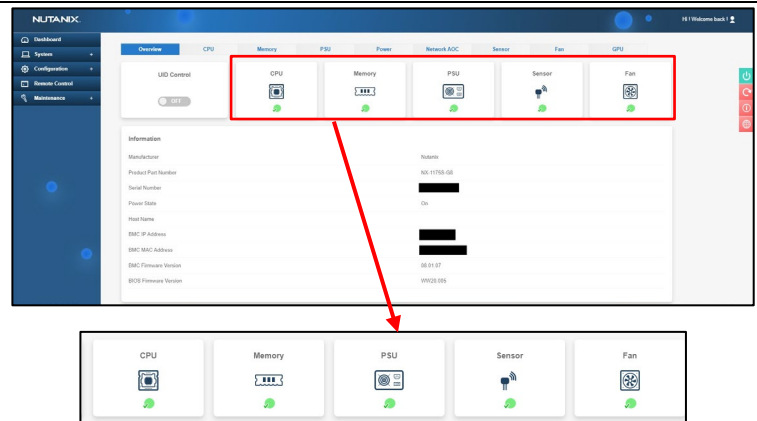
1. ブラウザから IPMI にアクセスし、ユーザー名 (ADMIN) とパスワードを入力し、「Login」ボタンをクリックします。



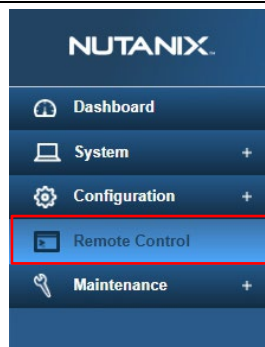
2. ログインが成功すると「Dashboard」画面が表示されます。
左側のメニューから「System」内の「Component Info」欄をクリックします。



3. サーバーのハードウェアが正常に動作している場合は、各コンポーネントが緑のマークで表示されます。

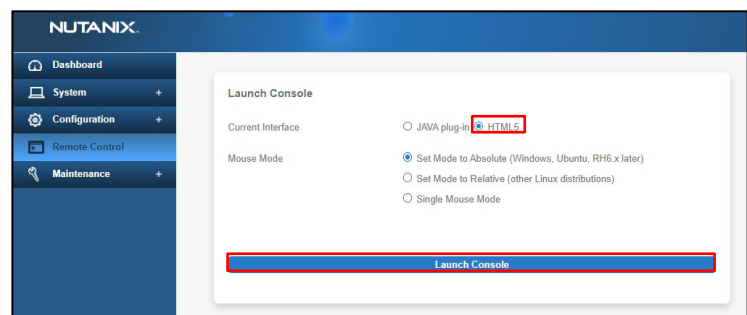


4. 画面表示を確認したいときは、左メニューの「Remote Control」をクリックします。

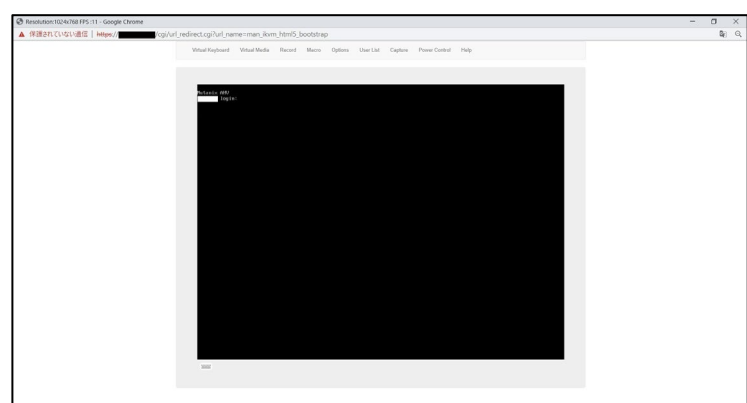


5. 接続方式を選択します。ご利用の環境に応じて、「Java plug-in」、「HTML5」から選択してください。

ここでは「HTML5」を選択し、「Launch Console」をクリックします。



6. コンソール画面が表示されます。BIOSやハイパーバイザー(AHV)の画面表示を確認することができます。



3.3 ハイパーバイザー(AHV)へのログイン確認

ハイパーバイザー(AHV)に操作端末から SSH で接続し、正常に起動しているか確認します。

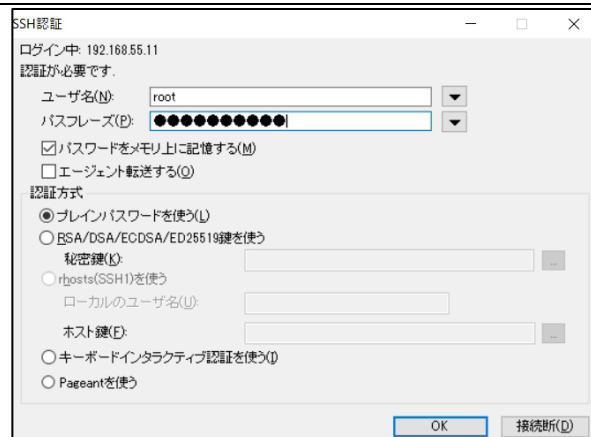
ハイパーバイザー(AHV)へのログインに必要な情報は以下の通りです。

ハイパーバイザー(AHV)ログイン情報

IP アドレス	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたハイパーバイザーのIPアドレス
ユーザー名	root
パスワード	nutanix/4u

以下の手順にてハイパーバイザー(AHV)にアクセスします。

1. TeraTerm などの SSH クライアントからハイパーバイザー(AHV)に接続します。



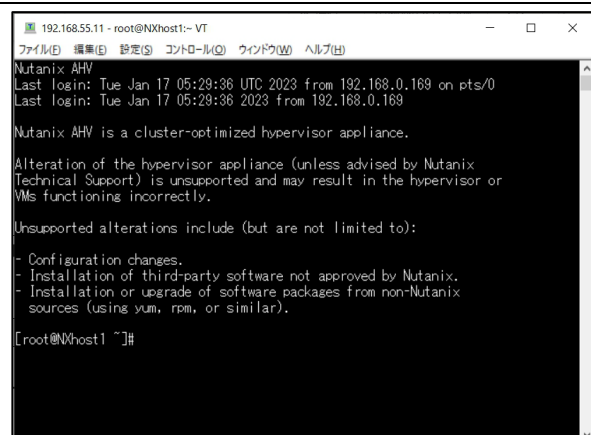
2. ログインに成功すると、以下のコマンドプロンプトが表示されます。

```
[root@AHV ホスト名]#
```

正常に接続できない場合は、ネットワーク接続などをご確認ください。

exit コマンドでログアウトできます。

本手順をすべてのノードのハイパーバイザー(AHV)に対して実施してください。



3.4 CVM へのログイン確認

CVM に操作端末から SSH で接続し、正常に起動しているか確認します。

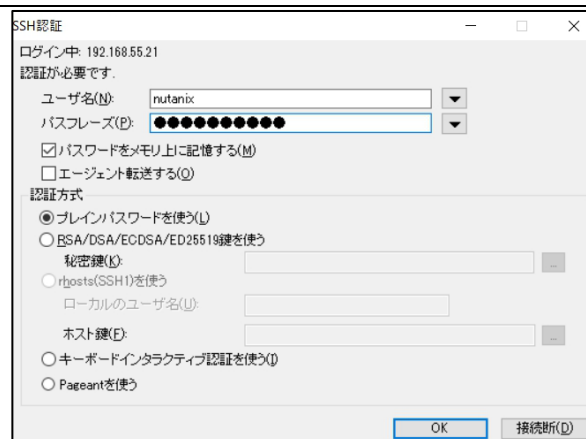
CVM へのログインに必要な情報は以下の通りです。

CVM ログイン情報

IP アドレス	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた CVM IPアドレス
ユーザー名	nutanix
パスワード	nutanix/4u

以下の手順にて CVM にアクセスします。

1. TeraTerm などの SSH クライアントから CVM に接続します。



2. ログインに成功すると、以下のコマンドプロンプトが表示されます。

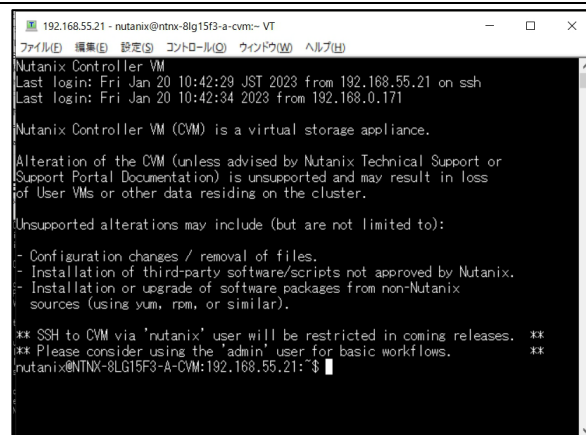
```
nutanix@CVM ホスト名:IP アドレス:$
```

正常に接続できない場合は、ネットワーク接続などをご確認ください。

exit コマンドでログアウトできます。

※次の手順では 1 台の CVM からコマンドを実行して Nutanix クラスターを起動させますので、全ての CVM からログアウトしないでください

本手順をすべてのノードの CVM に対して実施してください。



3.5 Nutanix クラスターの起動

CVM から以下の手順で Nutanix クラスターを起動させます。

※Nutanix クラスターの起動は、1 台のノードの CVM から実行します。

1. CVM から以下のコマンドを実行します。

```
$ cluster start
```

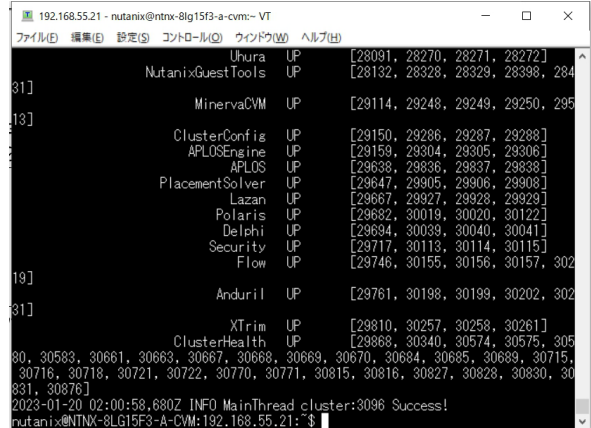
クラスターが起動するまでしばらく待ちます。



2. Nutanix クラスターの起動が完了すると以下のメッセージが表示されます。

```
INFO MainThread cluster:XXXX Success!
```

※XXXX は数字です



3.6 Prism Element へのログイン

Nutanix クラスターの起動が完了したら、Nutanix の Web 管理画面である Prism Element にログインします。

Prism Element へのログインに必要な情報は以下の通りです。

Prism Element ログイン情報

IP アドレス	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたクラスター仮想 IP アドレス ※クラスター仮想 IP アドレスをご記入いただいていない場合は、いずれか 1 ノードの CVM IP アドレスにアクセスしてください
ユーザー名	admin
パスワード	「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた admin ユーザーのパスワード

以下の手順にて Prism Element にアクセスします。

1. 操作端末の Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

https://IP アドレス:9440/

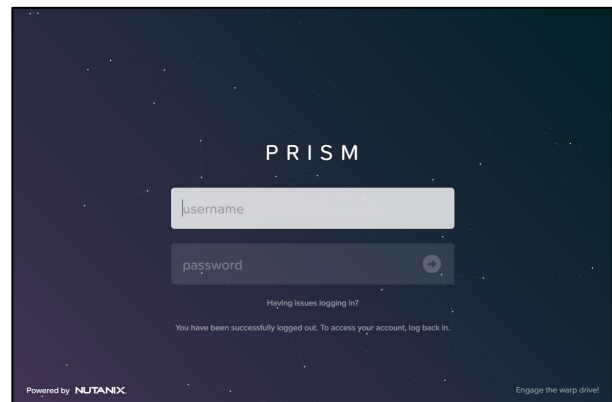
もしくは

http://IP アドレス/

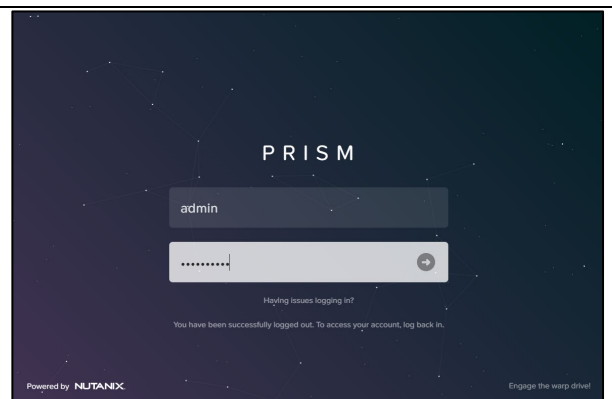
※自動で https の 9440 番ポートにリダイレクトされます

プライバシーエラーが表示された場合は続行します。

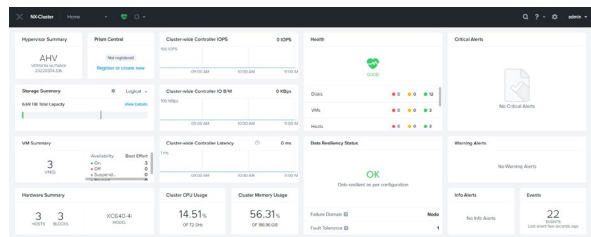
右のログイン画面が表示されます。



2. admin ユーザーとパスワードを入力し、Enter キーまたは「→」ボタンをクリックします。



3. Prism Element の画面が表示されます。



以上で Nutanix の起動は完了です。

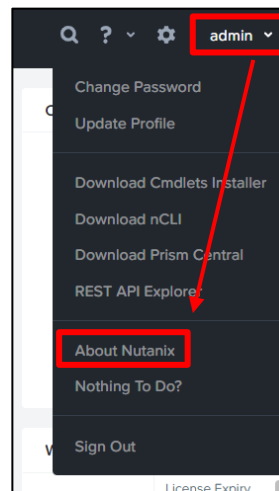
4. 設定内容の確認

ここでは設定内容の確認作業を実施します。お手元に「Foundation 作業依頼書」をご用意ください。
前章までの手順にて Nutanix クラスターが起動し、Prism Element、CVM にログインできる状態である必要があります。

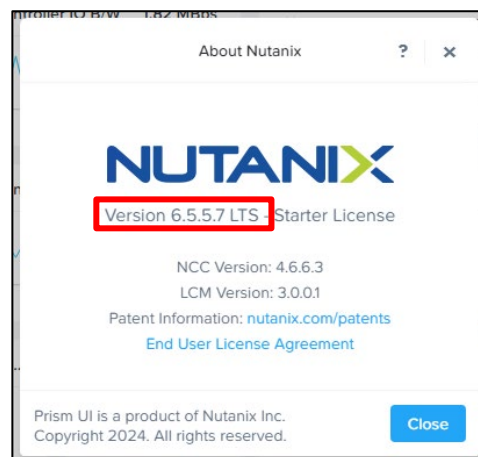
4.1 AOS バージョンの確認

以下の手順にて AOS のバージョンを確認します。

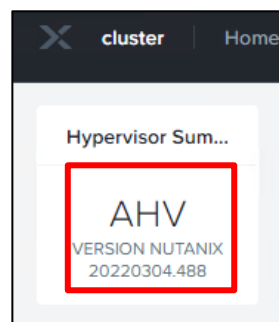
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の「admin」をクリックし、「About Nutanix」をクリックします。



2. 表示された Version 番号をご確認いただき、「Foundation 作業依頼書」の「AOS のバージョン」と相違が無いことをご確認ください。



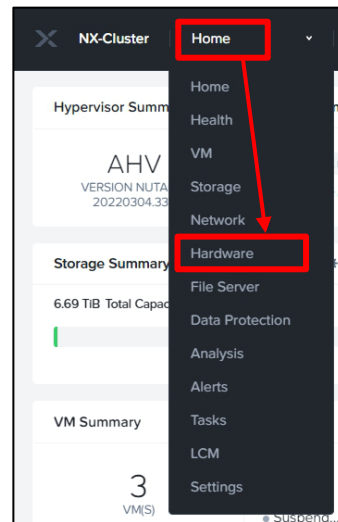
3. 弊社 Foundation 作業では、AOS にバンドルされたハイパーバイザー(AHV)をインストールしております。AHV のバージョンは Prism Element ログイン直後のページの「Hypervisor Summary」にてご確認ください。



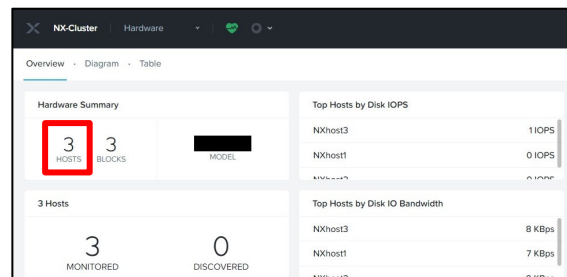
4.2 ノード数・ノードの IP アドレスの確認

以下の手順にてノード数と各ノードに設定されている IP アドレスを確認します。

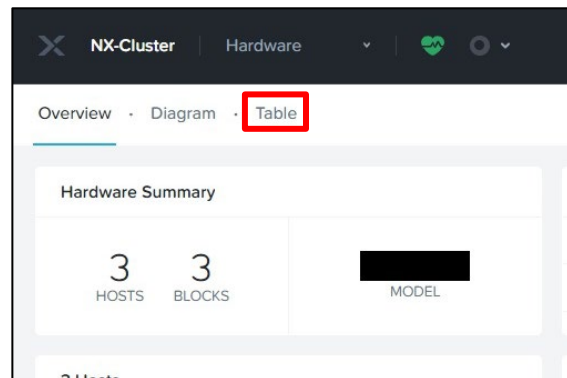
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面上の「Home」をクリックし、「Hardware」をクリックします。



2. ハードウェアの概要が表示されます。
「Hardware Summary」欄の HOSTS(ホスト数)に表示されたノード数が実際のノード数と一致していることをご確認ください。



3. 引き続きノードに設定されている IP アドレスの確認作業を実施します。
「Table」をクリックします。



4. ノードに設定されたホスト名、ハイパーバイザー IP アドレス、CVM の IP アドレスが表示されます。
「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたホスト名、IP アドレスと相違が無いことをご確認ください。

Host Name	Host IP	CVM IP	Hypervisor
NXhost1	192.168.55.11	192.168.55.21	AHV
NXhost2	192.168.55.12	192.168.55.22	AHV
NXhost3	192.168.55.13	192.168.55.23	AHV

5. 各ノードをクリックすると、画面下部にて各ノードの IPMI IP アドレスやディスク構成、メモリ容量、CPU モデルなどがご確認いただけます。

IPMI IP : IPMI の IP アドレス

Node Serial : ノードシリアル番号

Block Serial : ブロック(筐体)シリアル番号

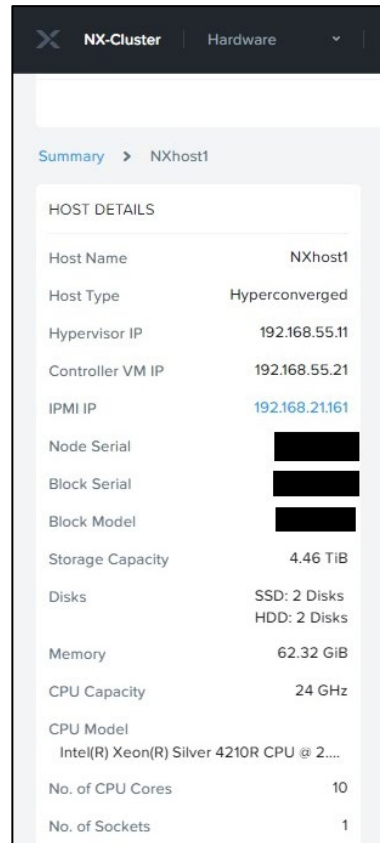
Disks : ディスク構成

Memory : メモリ容量

CPU Model : CPU モデル

No. of CPU Cores : CPU コア数

No. of CPU Sockets : CPU 数

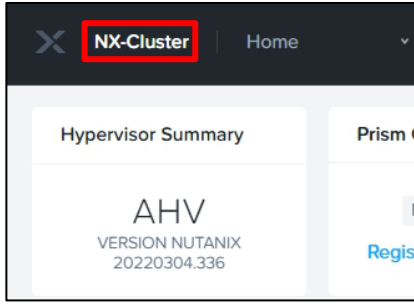
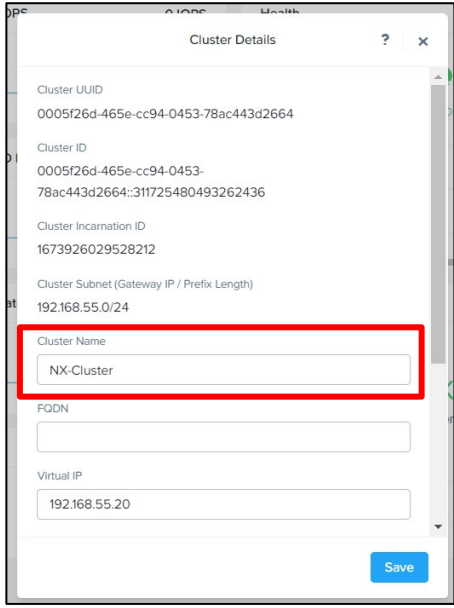
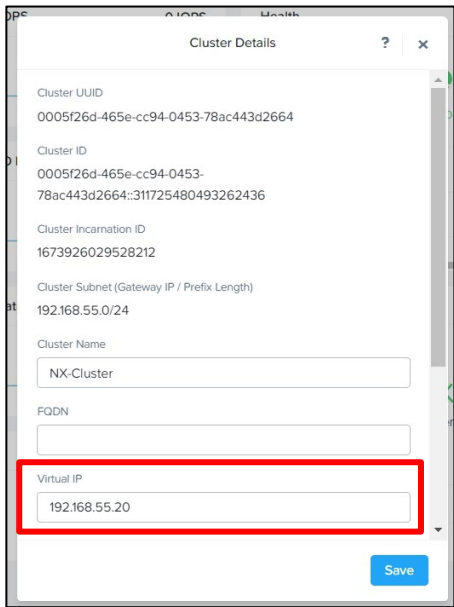


The screenshot shows the 'NX-Cluster' interface with a 'Hardware' dropdown menu. The 'Summary' tab is selected, displaying 'NXhost1'. Below this, the 'HOST DETAILS' section lists various system parameters. Some fields like Node Serial, Block Serial, and Block Model are redacted with black boxes. The IPMI IP is highlighted in blue.

HOST DETAILS	
Host Name	NXhost1
Host Type	Hyperconverged
Hypervisor IP	192.168.55.11
Controller VM IP	192.168.55.21
IPMI IP	192.168.21.161
Node Serial	[REDACTED]
Block Serial	[REDACTED]
Block Model	[REDACTED]
Storage Capacity	4.46 TiB
Disks	SSD: 2 Disks HDD: 2 Disks
Memory	62.32 GiB
CPU Capacity	24 GHz
CPU Model	Intel(R) Xeon(R) Silver 4210R CPU @ 2....
No. of CPU Cores	10
No. of Sockets	1

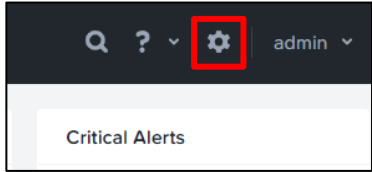
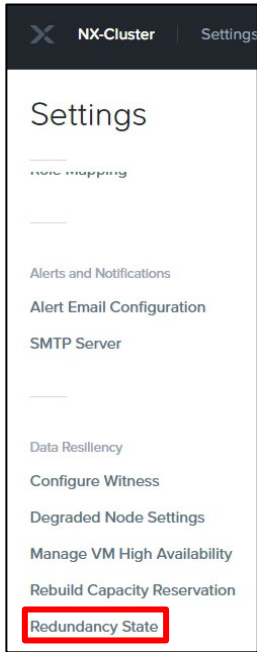
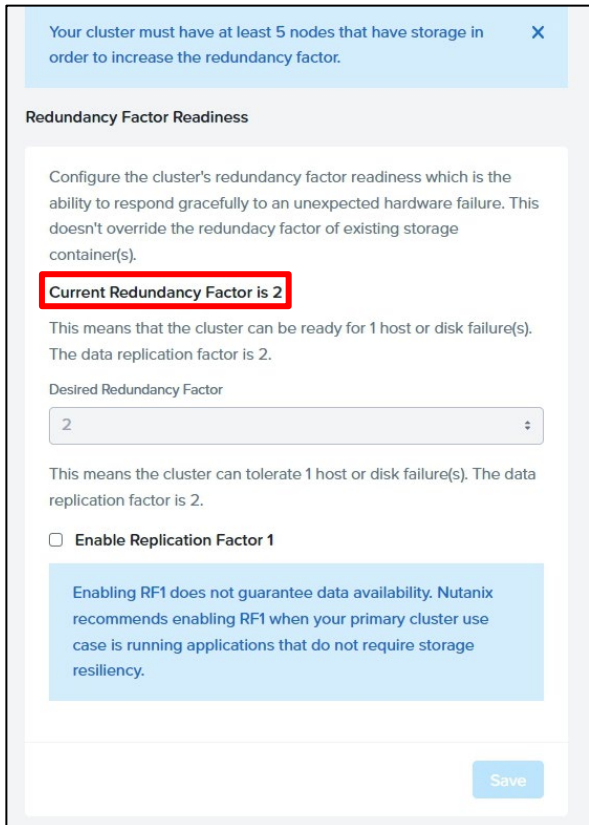
4.3 クラスター名とクラスター仮想 IP アドレスの確認

以下の手順にて Nutanix クラスター名とクラスター仮想 IP アドレスを確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面左上の X マークの右の文字列（クラスター名）をクリックします。	
2. クラスター詳細ウィンドウが表示されます。 「Cluster Name」欄にクラスター名が表示されます。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたクラスター名と相違が無いことをご確認ください。	
3. 引き続き「Virtual IP」欄を確認します。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいたクラスター仮想 IP アドレスと相違が無いことをご確認ください。 なお、クラスター仮想 IP アドレスの設定は必須ではありません。	

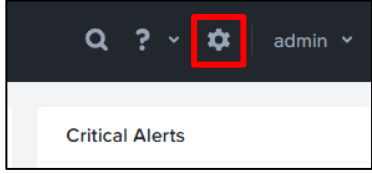
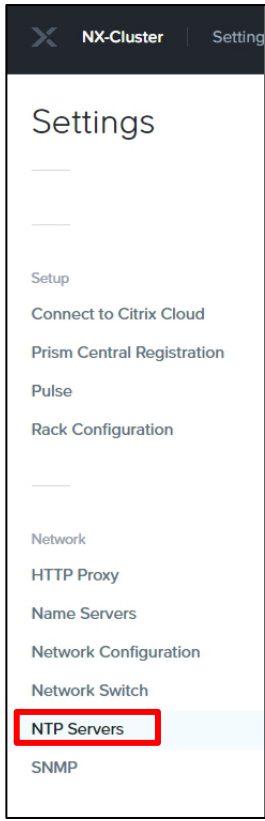
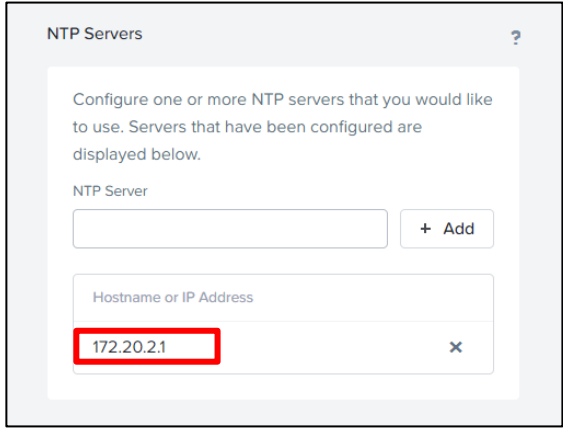
4.4 Redundancy Factor の確認

以下の手順にて Redundancy Factor を確認します。

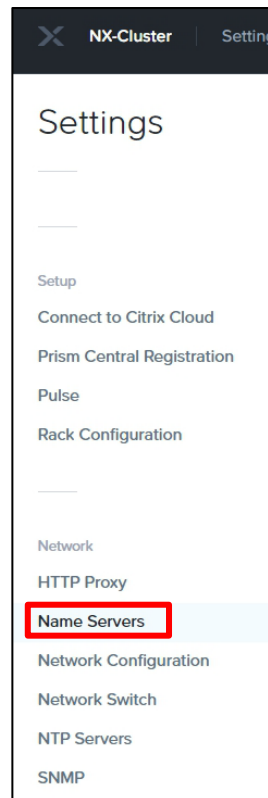
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Settings」画面が表示されます。 「Data Resiliency」カテゴリーにある「Redundancy State」をクリックします。	
3. 「Current Redundancy Factor」として現在の Redundancy Factor が表示されます。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた Redundancy Factor と相違が無いことをご確認ください。 なお、Redundancy Factor に 3 を設定するには、5 ノード以上が必要です。	

4.5 NTP、DNS サーバーの確認

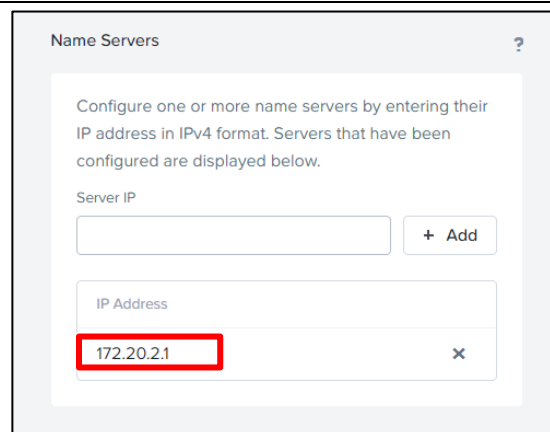
以下の手順にて NTP、DNS サーバーの設定を確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Settings」画面が表示されます。 「Network」カテゴリーにある「NTP Servers」をクリックします。	
3. 設定されている参照先 NTP サーバーが表示されます。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた NTP サーバーと相違が無いことをご確認ください。 ※右画像は設定例です	

4. 引き続き DNS 設定を確認します。
「Network」カテゴリーにある「Name Servers」をクリックします。



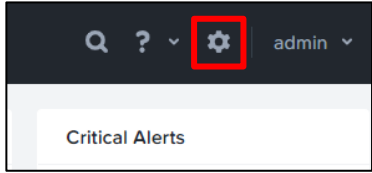
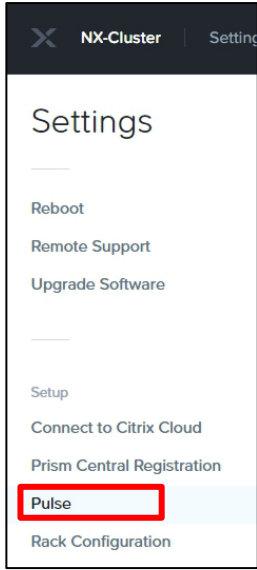
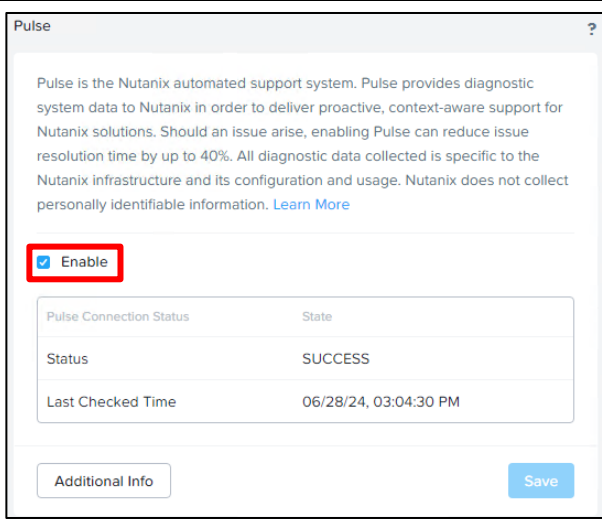
5. 設定されている参照先 DNS サーバーが表示されます。
「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた DNS サーバーと相違が無いことをご確認ください。
※右画像は設定例です



4.6 Pulse 設定値の確認

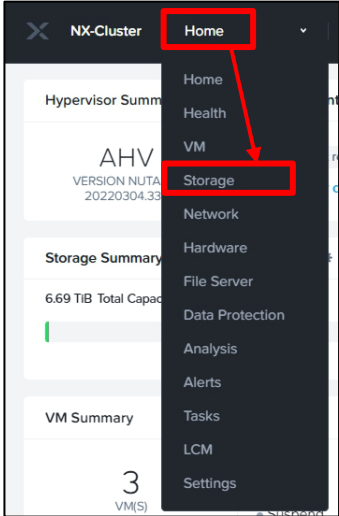
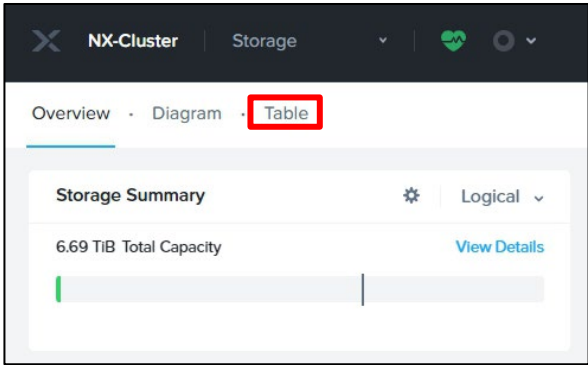
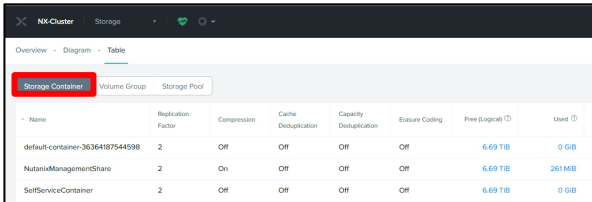
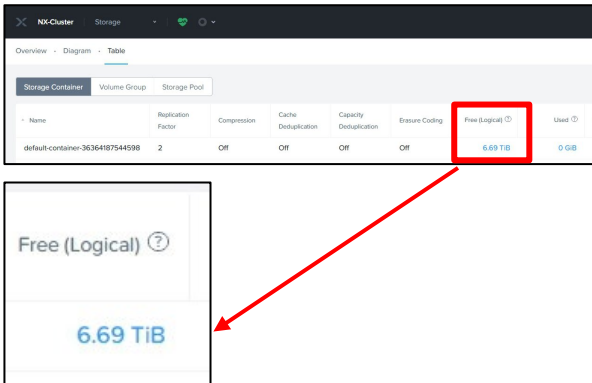
Pulse は、Nutanix が提供している診断機能の一つであり、Nutanix クラスターの構成情報、診断情報を定期的に収集し Nutanix に送信します。

以下の手順にて Pulse の設定値を確認します。

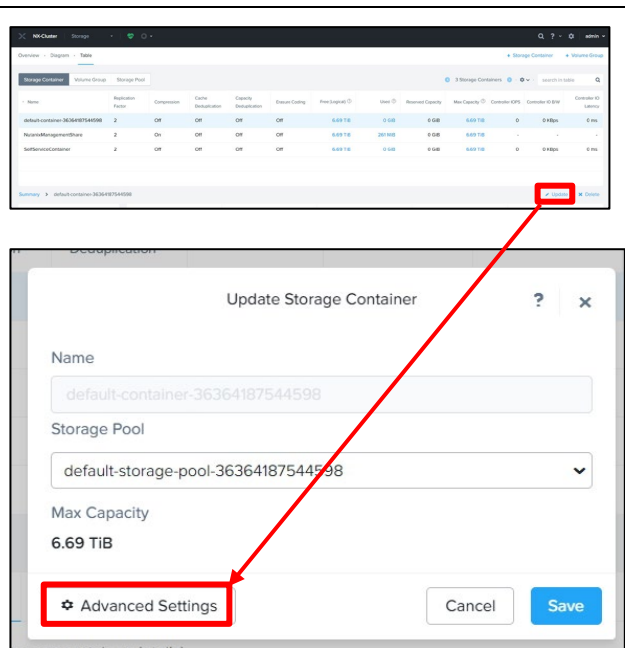
1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。							
2. 「Settings」画面が表示されます。 「Setup」カテゴリーにある「Pulse」をクリックします。							
3. Pulse の有効/無効が表示されます。 「Enable」にチェックが入っている場合は、Pulse が有効になっています。 「Foundation 作業依頼書」にご記入いただいた Pulse の設定値と相違が無いことをご確認ください。	 <table border="1"><thead><tr><th>Pulse Connection Status</th><th>State</th></tr></thead><tbody><tr><td>Status</td><td>SUCCESS</td></tr><tr><td>Last Checked Time</td><td>06/28/24, 03:04:30 PM</td></tr></tbody></table>	Pulse Connection Status	State	Status	SUCCESS	Last Checked Time	06/28/24, 03:04:30 PM
Pulse Connection Status	State						
Status	SUCCESS						
Last Checked Time	06/28/24, 03:04:30 PM						

4.7 ストレージコンテナの確認

以下の手順にてストレージコンテナの状態を確認します。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面上の「Home」をクリックし、「Storage」をクリックします。																																	
2. ストレージの概要が表示されます。 「Table」をクリックします。																																	
3. 「Storage Container」を選択します。 「default-container-xxxxxxx」が表示されていることを確認します。	 <table><tr><th>Name</th><th>Replication Factor</th><th>Compression</th><th>Cache Deduplication</th><th>Capacity Deduplication</th><th>Erasure Coding</th><th>Free (Logical)</th><th>Used</th></tr><tr><td>default-container-36364187544598</td><td>2</td><td>Off</td><td>Off</td><td>Off</td><td>Off</td><td>6.69 TiB</td><td>0 GiB</td></tr><tr><td>NutanixManagementShare</td><td>2</td><td>On</td><td>Off</td><td>Off</td><td>Off</td><td>6.69 TiB</td><td>261 MiB</td></tr><tr><td>SelfServiceContainer</td><td>2</td><td>Off</td><td>Off</td><td>Off</td><td>Off</td><td>6.69 TiB</td><td>0 GiB</td></tr></table>	Name	Replication Factor	Compression	Cache Deduplication	Capacity Deduplication	Erasure Coding	Free (Logical)	Used	default-container-36364187544598	2	Off	Off	Off	Off	6.69 TiB	0 GiB	NutanixManagementShare	2	On	Off	Off	Off	6.69 TiB	261 MiB	SelfServiceContainer	2	Off	Off	Off	Off	6.69 TiB	0 GiB
Name	Replication Factor	Compression	Cache Deduplication	Capacity Deduplication	Erasure Coding	Free (Logical)	Used																										
default-container-36364187544598	2	Off	Off	Off	Off	6.69 TiB	0 GiB																										
NutanixManagementShare	2	On	Off	Off	Off	6.69 TiB	261 MiB																										
SelfServiceContainer	2	Off	Off	Off	Off	6.69 TiB	0 GiB																										
4. 「default-container-xxxxxxx」の「Free(Logical)」列の値が、実際に利用可能なストレージ容量です。 ※右画像は例です	 Free (Logical) ? 6.69 TiB																																

5. 「Update」をクリック、「Advanced Settings」にて、コンテナの詳細設定の確認・設定が可能です。



5. Prism Central のデプロイ・設定

ここでは Prism Central のデプロイ、登録、停止、起動作業を実施します。

※以下のバージョンの Prism Central を使用して本手順書を作成しております。Prism Central のバージョンによっては、設定画面が変更されている可能性がありますので、ご注意ください。

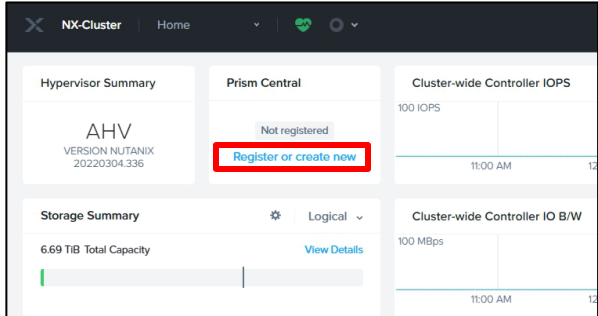
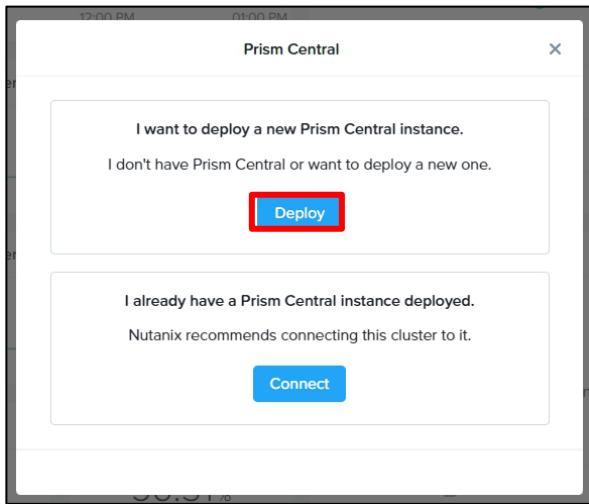
Prism Central	pc.2022.6.0.5
---------------	---------------

※Prism Central のデプロイは単一 VM を想定しています。

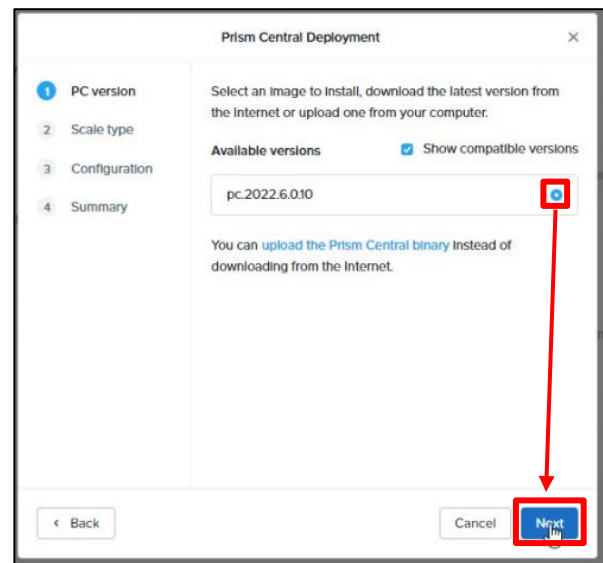
※Prism Central のインストールバイナリは、クラスターがインターネット接続されていない場合、インターネット接続可能な PC でダウンロードした後、アップロードする必要があります。

5.1 Prism Central のデプロイ

以下の手順にて Prism Central をデプロイします。

1. Prism Element 上の Prism Central ウィジェットから「Register or create new」をクリックします。	
2. 新規の Prism Central を作成するために、「Deploy」をクリックします。	

3. ダウンロード・インストールするバージョンにチェックを入れ、「Next」ボタンをクリックします。



Prism Central Deployment

1 PC version

Select an image to install, download the latest version from the Internet or upload one from your computer.

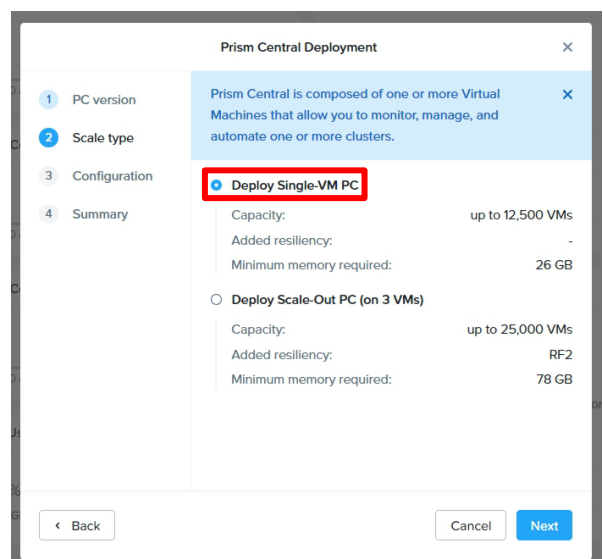
Available versions ☒ Show compatible versions

pc.2022.6.0.10

You can upload the Prism Central binary instead of downloading from the Internet.

Back Cancel Next

4. 今回は Single-VM(単一 VM)の Prism Central をデプロイするため、「Deploy Single-VM PC」を選択し、「Next」をクリックします。
- スケールアウトのために 3 台の Prism Central をデプロイする場合は、「Deploy Scale-Out (on 3 VMs)」をクリックしてください。



Prism Central Deployment

1 PC version

2 Scale type

Prism Central is composed of one or more Virtual Machines that allow you to monitor, manage, and automate one or more clusters.

☒ Deploy Single-VM PC

Capacity: up to 12,500 VMs

Added resiliency: -

Minimum memory required: 26 GB

☐ Deploy Scale-Out PC (on 3 VMs)

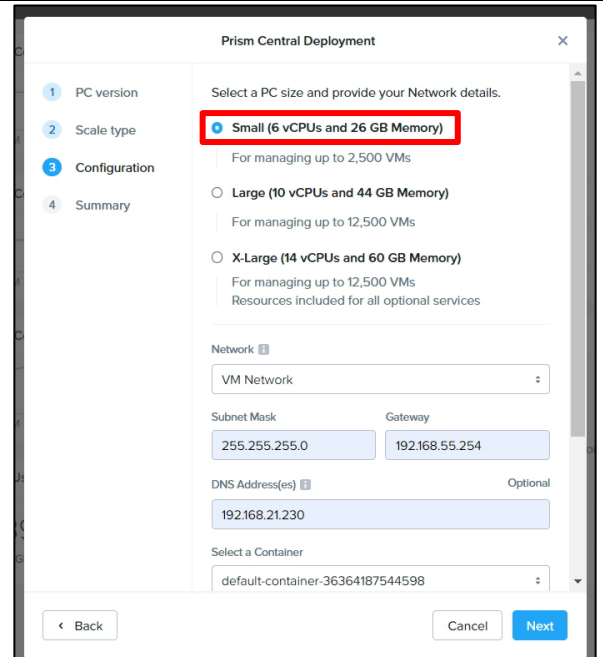
Capacity: up to 25,000 VMs

Added resiliency: RF2

Minimum memory required: 78 GB

Back Cancel Next

5. Prism Central VM のサイズ (管理する仮想マシンの数に応じたサイズを選択してください)を選択します。



Prism Central Deployment

1 PC version

2 Scale type

3 Configuration

4 Summary

Select a PC size and provide your Network details.

☒ Small (6 vCPUs and 26 GB Memory)

For managing up to 2,500 VMs

☐ Large (10 vCPUs and 44 GB Memory)

For managing up to 12,500 VMs

☐ X-Large (14 vCPUs and 60 GB Memory)

For managing up to 12,500 VMs

Resources included for all optional services

Network

VM Network

Subnet Mask: 255.255.255.0

Gateway: 192.168.55.254

DNS Address(es): 192.168.21.230

Select a Container: default-container-36364187544598

Back Cancel Next

6. 下にスクロールし、引き続き以下の指定されたフィールドを入力します。

Network : Prism Central VM を配置するターゲットネットワーク

Subnet Mask : サブネットマスク

Gateway: デフォルトゲートウェイ

DNS Address (option): 1 つまたは複数の DNS サーバーの IP アドレス

Select a Container: Prism Central VM を配置するコンテナ

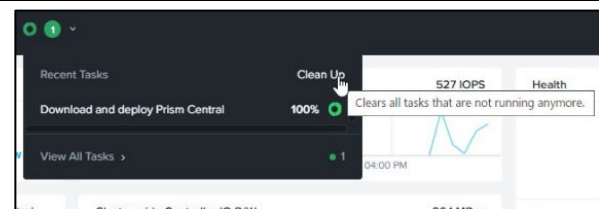
VM Name: Prism Central VM の名前

IP: Prism Central VM の IP アドレス

入力後、「Next」ボタンをクリックします。

7. 確認画面が表示されます。「Deploy」ボタンをクリックすると、デプロイが開始されます。

8. 画面上部のタスクの「Download and deploy Prism Central」が 100%になると、デプロイは完了です。



9. 操作端末の Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

https://Prism Central の IP アドレス:9440/

もしくは

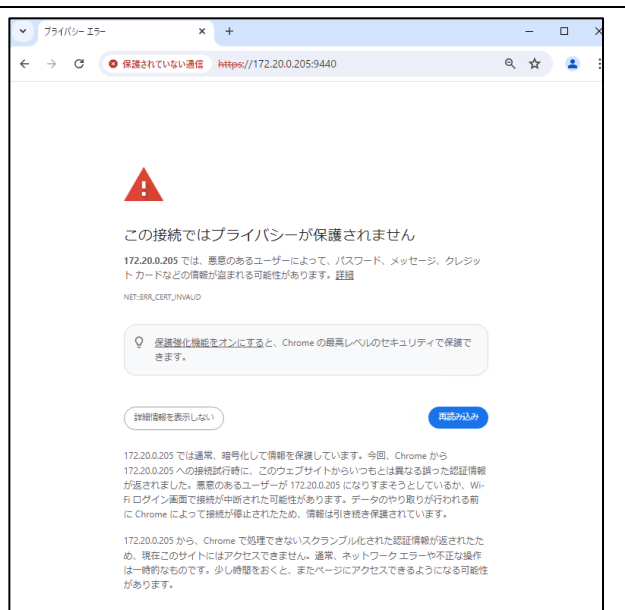
http://Prism Central の IP アドレス/

※自動で https の 9440 番ポートにリダイレクトされます

Google Chrome ご利用時に「この接続ではプライバシーが保護されません」という画面が表示された場合はそのまま、画面上で

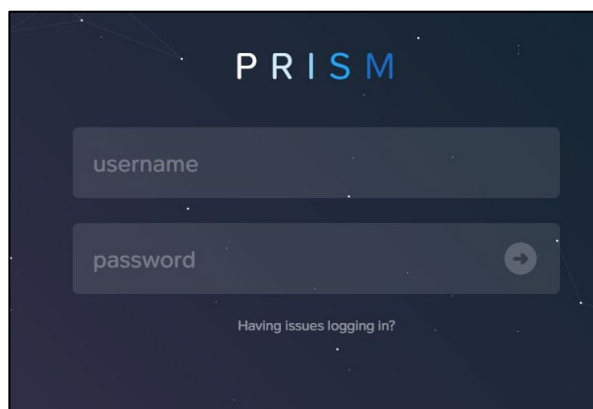
thisisunsafe

とキーボードから入力して下さい。ログイン画面に遷移します。これは Google Chrome のセキュリティ強化に伴う仕様です。

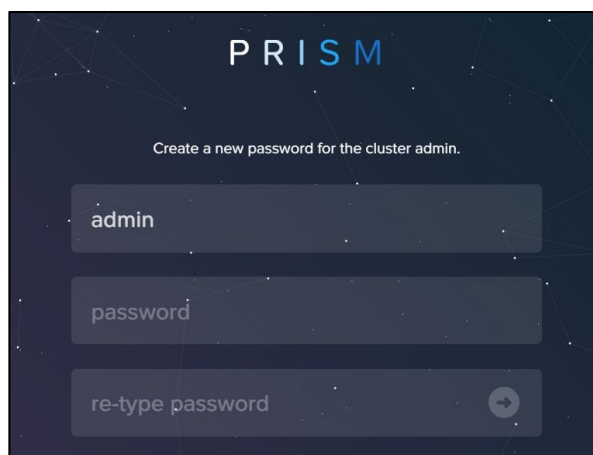


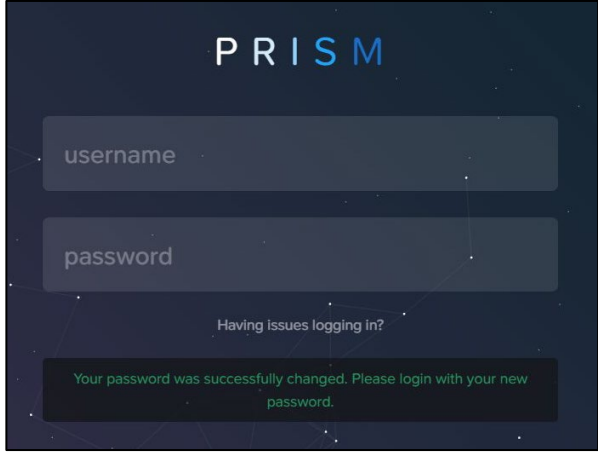
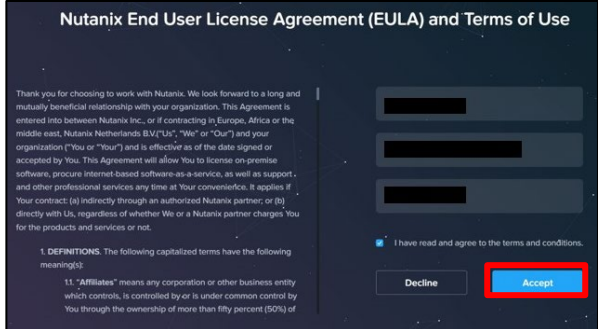
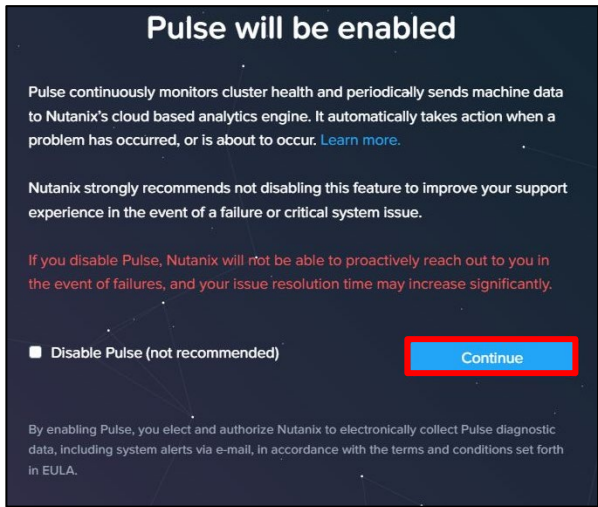
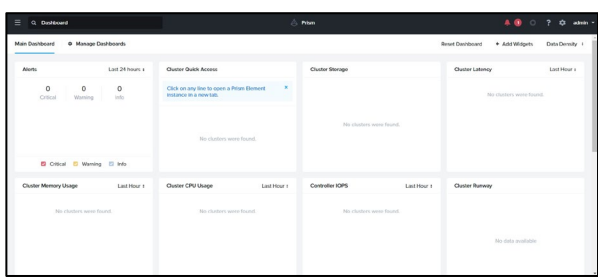
10. ログイン画面が表示されたら、admin ユーザーと初期パスワード Nutanix/4u を入力し、Enter キーまたは「→」ボタンをクリックします。

※パスワードの1文字目は大文字の N です



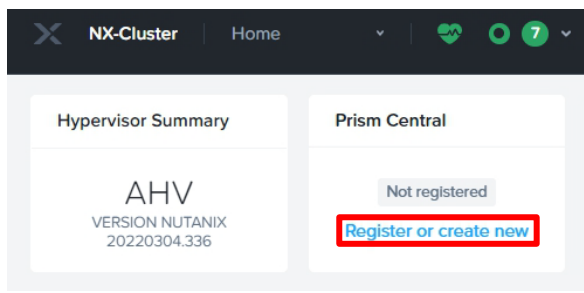
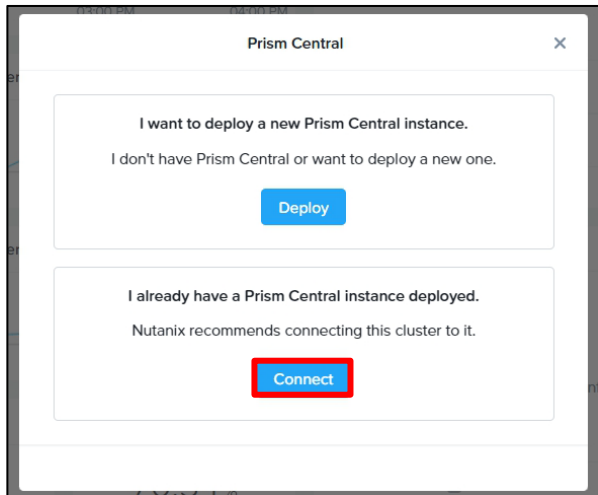
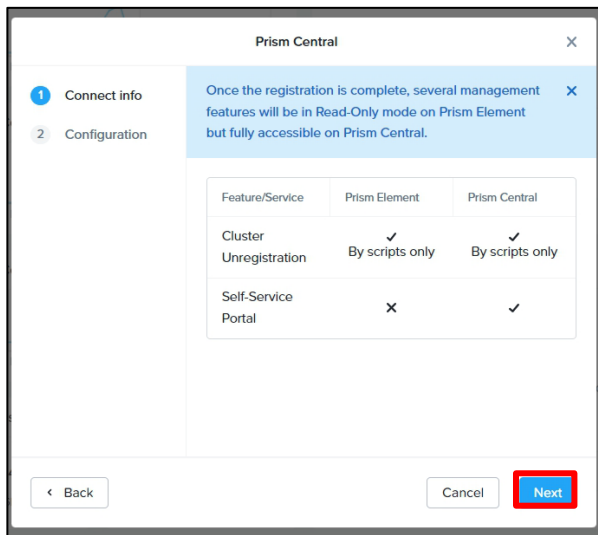
11. 新しいパスワードを設定します。



12. admin ユーザーと新規パスワードを入力し、Enter キーをクリックします。	 The image shows the PRISM login interface. At the top, the word 'PRISM' is displayed in a light blue font. Below it are two input fields: 'username' and 'password'. A link 'Having issues logging in?' is positioned between the fields. At the bottom, a green message box states: 'Your password was successfully changed. Please login with your new password.'
13. EULA 画面で「Name」、「Company」、「Job Title」を入力し、「I have read and agree to the terms and conditions.」にチェックを入れ、「Accept」ボタンをクリックします。	 The image displays the 'Nutanix End User License Agreement (EULA) and Terms of Use' screen. It includes a thank-you message and legal terms. On the right, there are three input fields for 'Name', 'Company', and 'Job Title'. Below these is a checkbox labeled 'I have read and agree to the terms and conditions.' with two buttons: 'Decline' and 'Accept'. The 'Accept' button is highlighted with a red rectangle.
14. Prism Central にて通知設定 Pulse を有効にする場合は、チェックボタンを外したまま、「Continue」ボタンをクリックします。	 The image shows a screen titled 'Pulse will be enabled'. It explains that Pulse monitors cluster health and sends data to Nutanix's cloud analytics engine. It strongly recommends not disabling this feature. Below the text, there is a checkbox labeled 'Disable Pulse (not recommended)' which is checked. To the right of this checkbox is a blue 'Continue' button, which is highlighted with a red rectangle.
15. Prism Central の画面が表示されます。	 The image shows the Prism Central dashboard. It features a top navigation bar with 'Dashboard' and 'Prism' tabs. The main area contains several widgets: 'Alerts' (with a 'Last 24 hours' filter), 'Cluster Quick Access' (with a link to 'Click on any tile to open a Prism Element instance in a new tab'), 'Cluster Storage', 'Cluster Latency', 'Cluster Memory Usage', 'Cluster CPU Usage', 'Controller OPS', and 'Cluster Runway'. Each widget displays 'No clusters were found'.

5.2 クラスターの登録

以下の手順にて Nutanix クラスターを Prism Central に登録します。

1. Prism Element に戻り、画面上の Prism Central ウィジェットから「Register or create new」をクリックします。										
2. 作成した Prism Central に接続するために、「Connect」をクリックします。										
3. Prism Central で利用できるサービスの概要が表示されます。確認後、「Next」をクリックします。	 <table><tr><th>Feature/Service</th><th>Prism Element</th><th>Prism Central</th></tr><tr><td>Cluster Unregistration</td><td>By scripts only ✓</td><td>By scripts only ✓</td></tr><tr><td>Self-Service Portal</td><td>✗</td><td>✓</td></tr></table>	Feature/Service	Prism Element	Prism Central	Cluster Unregistration	By scripts only ✓	By scripts only ✓	Self-Service Portal	✗	✓
Feature/Service	Prism Element	Prism Central								
Cluster Unregistration	By scripts only ✓	By scripts only ✓								
Self-Service Portal	✗	✓								

4. 以下の指定されたフィールドに Prism Central の情報を入力します。

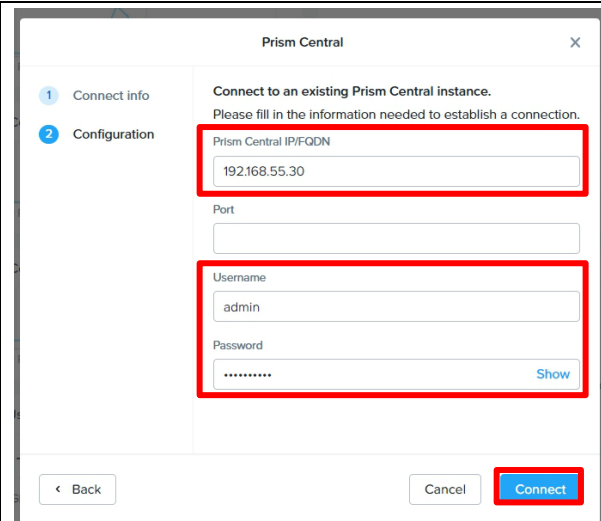
Prism Central IP/FQDN : Prism Central の IP アドレスまたは FQDN

Port : 空欄で結構です

Username: Prism Central のユーザー名(admin)

Password : admin ユーザーのパスワード

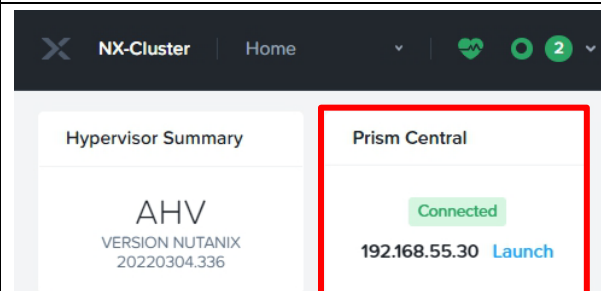
入力後、「Connect」ボタンをクリックします。



The screenshot shows a 'Prism Central' dialog box with two tabs: 'Connect info' and 'Configuration'. The 'Configuration' tab is active, showing fields for 'Prism Central IP/FQDN' (192.168.55.30), 'Port' (empty), 'Username' (admin), and 'Password' (masked with dots). A 'Show' button is next to the password field. At the bottom, there are 'Back', 'Cancel', and 'Connect' buttons. Red boxes highlight the IP/FQDN, Username, and Password fields.

5. 正常に接続できた場合、Prism Element の Prism Central ウィジェットで「Connected」が表示されます。

「Launch」をクリックすると、Prism Central の画面が開きます。



5.3 Prism Central への SSH ログイン

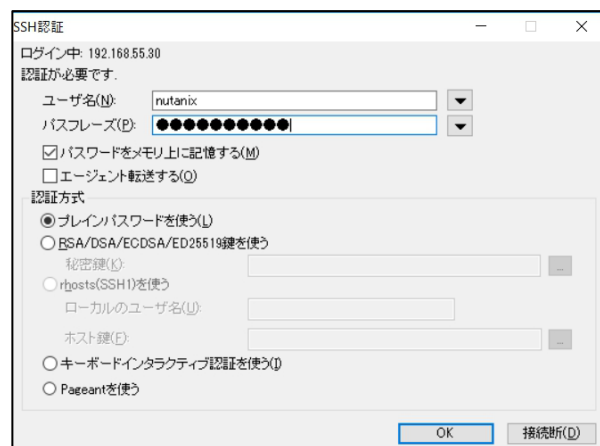
Prism Central に操作端末から SSH で接続し、Prism Central を停止、起動させることができます。
Prism Central へのログインに必要な情報は以下の通りです。

Prism Central SSH ログイン情報

IP アドレス	Prism Central を作成した際に指定した IP アドレス
ユーザー名	nutanix
パスワード	nutanix/4u

以下の手順で SSH クライアントから Prism Central にログインできます。

1. TeraTerm などの SSH クライアントから Prism Central VM に接続します。

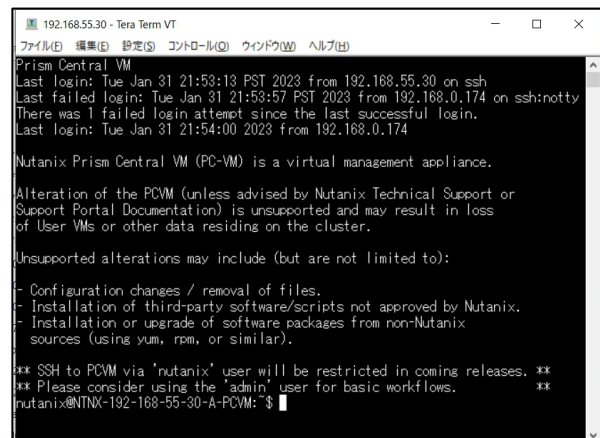


2. ログインに成功すると、以下のコマンドプロンプトが表示されます。

```
nutanix@PCVM ホスト名:IP アドレス:$
```

正常に接続できない場合は、ネットワーク接続などをご確認ください。

exit コマンドでログアウトできます。

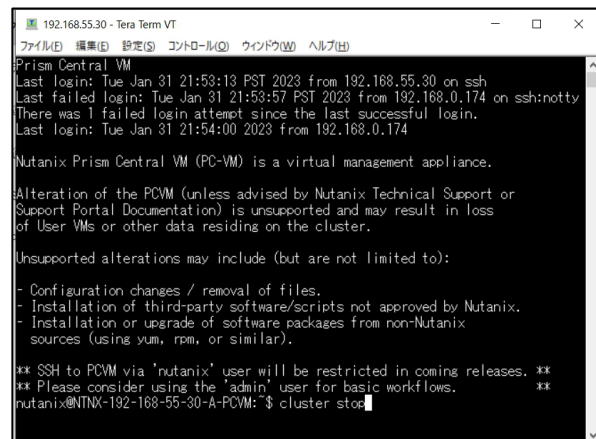


5.4 Prism Central の停止

クラスターを停止させる際などに、Prism Central を停止させるには以下の手順を実行してください。

1. Prism Central に SSH でログインし、以下のコマンドを実行します。

2. `$ cluster stop`



```
192.168.55.30 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Prism Central VM
Last login: Tue Jan 31 21:53:13 PST 2023 from 192.168.55.30 on ssh
Last failed login: Tue Jan 31 21:53:57 PST 2023 from 192.168.0.174 on ssh:notty
There was 1 failed login attempt since the last successful login.
Last login: Tue Jan 31 21:54:00 2023 from 192.168.0.174

Nutanix Prism Central VM (PC-VM) is a virtual management appliance.

Alteration of the PCVM (unless advised by Nutanix Technical Support or
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss
of User VMs or other data residing on the cluster.

Unsupported alterations may include (but are not limited to):

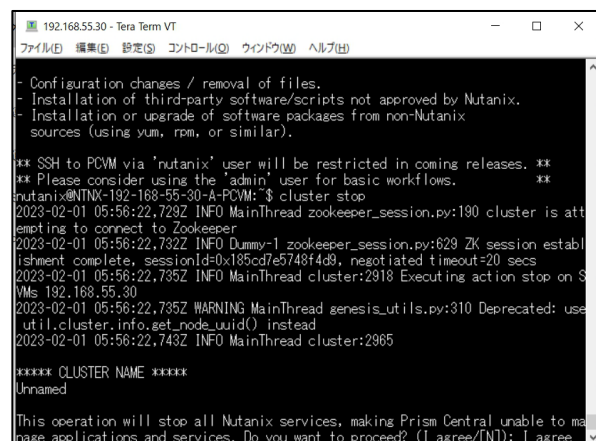
- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

*** SSH to PCVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases. ***
*** Please consider using the 'admin' user for basic workflows. ***
nutanix@NTNX-192-168-55-30-A-PCVM: $ cluster stop
```

2. Prism Central サービスを停止してもよいか確認が入ります。
停止する場合は、「I agree」と入力し、Enter キーを押します。

This operation will stop the Nutanix services, making Prism Central unable to manage applications and services. Do you want to proceed? (I agree/[N]): **I agree**

入力後、Prism Central サービスが停止するまでしばらく待ちます。



```
192.168.55.30 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

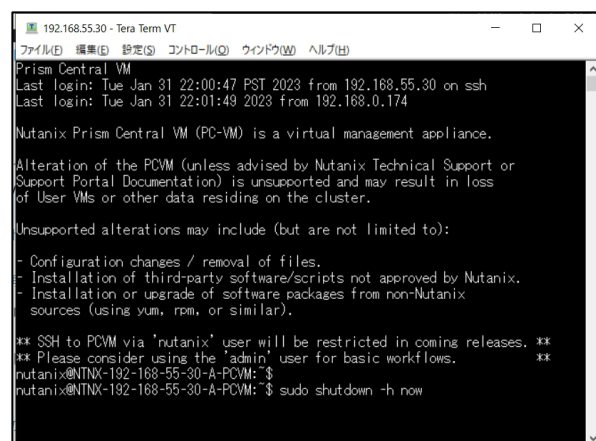
*** SSH to PCVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases. ***
*** Please consider using the 'admin' user for basic workflows. ***
nutanix@NTNX-192-168-55-30-A-PCVM: $ cluster stop
2023-02-01 05:56:22.729Z INFO MainThread zookeeper_session.py:190 cluster is attempting to connect to Zookeeper
2023-02-01 05:56:22.732Z INFO Dummy-1 zookeeper_session.py:629 ZK session establishment complete, sessionId=0x185cd7e5748f4d9, negotiated timeout=20 secs
2023-02-01 05:56:22.735Z INFO MainThread cluster:2918 Executing action stop on S
VMs 192.168.55.30
2023-02-01 05:56:22.735Z WARNING MainThread genesis_utils.py:310 Deprecated: use
util.cluster.info.set_node_uuid() instead
2023-02-01 05:56:22.743Z INFO MainThread cluster:2965

***** CLUSTER NAME *****
Unnamed

This operation will stop all Nutanix services, making Prism Central unable to ma
nage applications and services. Do you want to proceed? (I agree/[N]): I agree
```

3. 続いて、Prism Central VM をシャットダウンするために、以下のコマンドを実行します。

`$ sudo shutdown -h now`



```
192.168.55.30 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Prism Central VM
Last login: Tue Jan 31 22:00:47 PST 2023 from 192.168.55.30 on ssh
Last login: Tue Jan 31 22:01:49 2023 from 192.168.0.174

Nutanix Prism Central VM (PC-VM) is a virtual management appliance.

Alteration of the PCVM (unless advised by Nutanix Technical Support or
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss
of User VMs or other data residing on the cluster.

Unsupported alterations may include (but are not limited to):

- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

*** SSH to PCVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases. ***
*** Please consider using the 'admin' user for basic workflows. ***
nutanix@NTNX-192-168-55-30-A-PCVM: $
nutanix@NTNX-192-168-55-30-A-PCVM: $ sudo shutdown -h now
```


5.5 Prism Central の起動

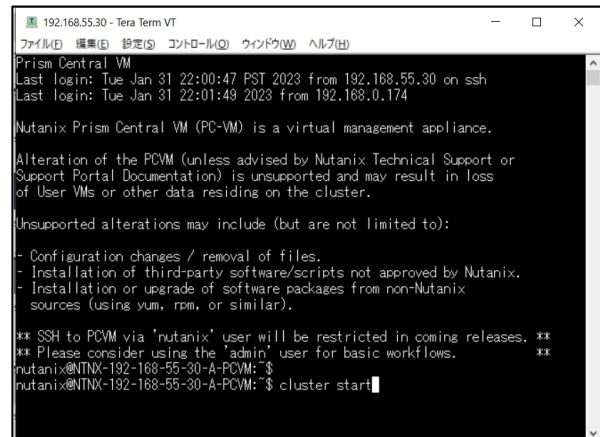
Prism Central を起動させる時は、以下の手順を実行してください。

1. Prism Element の仮想マシン管理ページから、Prism Central VM を起動します。
起動するまで 5～10 分ほど待ちます。

Prism Central VM が起動したら、SSH でログインし、以下のコマンドを実行します。

```
$ cluster start
```

Prism Central サービスが起動するまでしばらく待ちます。



```
192.168.55.30 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Prism Central VM
Last login: Tue Jan 31 22:00:47 PST 2023 from 192.168.55.30 on ssh
Last login: Tue Jan 31 22:01:49 2023 from 192.168.0.174

Nutanix Prism Central VM (PC-VM) is a virtual management appliance.

Alteration of the PCVM (unless advised by Nutanix Technical Support or
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss
of User VMs or other data residing on the cluster.

Unsupported alterations may include (but are not limited to):

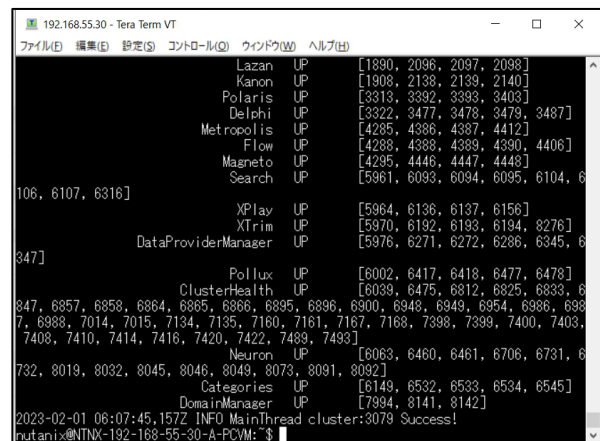
- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
  sources (using yum, rpm, or similar).

** SSH to PCVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases. **
** Please consider using the 'admin' user for basic workflows.          **
nutanix@NTNX-192-168-55-30-A-PCVM: $ cluster start
```

2. Prism Central サービスの起動が完了すると以下のメッセージが表示されます。

```
INFO MainThread cluster:XXXX Success!
```

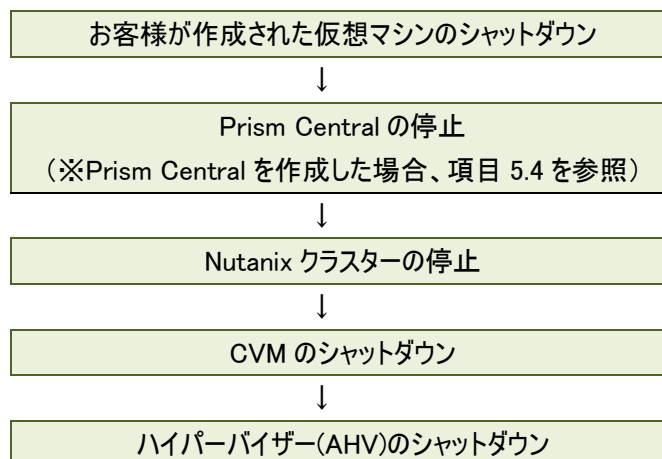
以上で Prism Central の起動は完了です。Prism Central の画面にアクセスできます。



```
192.168.55.30 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
1890, 2096, 2097, 2098]
Lazan UP [1890, 2096, 2097, 2098]
Kanon UP [1908, 2138, 2139, 2140]
Polaris UP [3313, 3382, 3393, 3403]
Delphi UP [3322, 3477, 3478, 3479, 3487]
Metropolis UP [4285, 4386, 4387, 4412]
Flow UP [4288, 4388, 4389, 4390, 4406]
Magnetos UP [4295, 4446, 4447, 4448]
Search UP [5961, 6093, 6094, 6095, 6104, 6105, 6106, 6107, 6316]
XPlay UP [5964, 6136, 6137, 6156]
XTrim UP [5970, 6192, 6193, 6194, 8276]
DataProviderManager UP [5976, 6271, 6272, 6286, 6345, 6346, 6347]
Pollux UP [6002, 6417, 6418, 6477, 6478]
ClusterHealth UP [6039, 6475, 6812, 6825, 6833, 6834, 6857, 6858, 6864, 6865, 6866, 6895, 6896, 6900, 6943, 6949, 6954, 6986, 6987, 6988, 7014, 7015, 7134, 7135, 7160, 7161, 7167, 7168, 7398, 7399, 7400, 7403, 7408, 7410, 7414, 7416, 7420, 7422, 7489, 7493]
Neuron UP [6063, 6460, 6461, 6706, 6731, 6732, 8019, 8032, 8045, 8046, 8049, 8073, 8091, 8092]
Categories UP [6149, 6532, 6533, 6534, 6545]
DomainManager UP [7994, 8141, 8142]
2023-02-01 06:07:45.157Z INFO MainThread cluster:3079 Success!
nutanix@NTNX-192-168-55-30-A-PCVM: $
```

6. Nutanix の停止

機器のメンテナンスや法定停電時などに Nutanix を停止させる必要があるときは、以下の順序で停止・シャットダウンする必要があります。

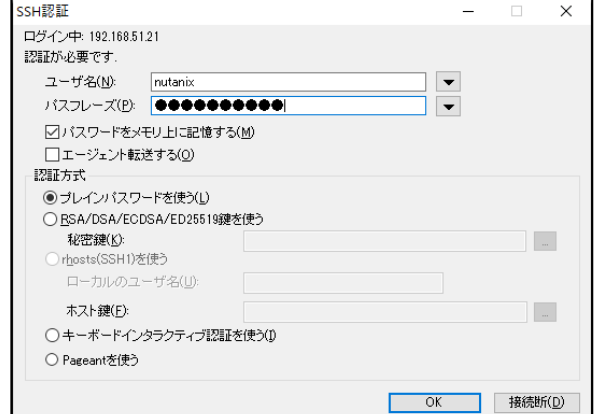
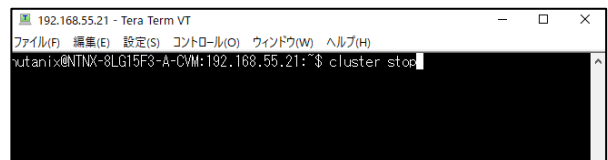


以下では、「お客様が作成された仮想マシンのシャットダウン」以降の手順について説明します。

6.1 Nutanix クラスターの停止

以下の手順にて Nutanix クラスターを停止します。

事前にお客様が作成された仮想マシンのシャットダウンを実施してください。

1. 任意の 1 台の CVM に nutanix ユーザーで SSH ログインします。	
2. クラスターを停止するには、以下のコマンドを実行します。 <pre>\$ cluster stop</pre>	

3. クラスタを停止してもよいか確認が入ります。
停止する場合は、「I agree」と入力し、Enter キーを押します。

This operation will stop the Nutanix storage services and any VMs using Nutanix storage will become unavailable. Do you want to proceed? (I agree/[N]): **I agree**

入力後、クラスタが停止するまでしばらく待ちます。

※本手順は 1 台の CVM からのみ実行します

```
192.168.55.21 - nutanix@ntnx-8lg15f3-a-cvm:~$ cluster stop
2023-02-01 06:22:28.059Z INFO MainThread zookeeper_session.py:191 cluster is attempting to connect to Zookeeper
2023-02-01 06:22:28.070Z INFO Dummy-1 zookeeper_session.py:625 ZK session establishment complete, sessionId=D:285cce3e0fad30, negotiated timeout=20 secs
2023-02-01 06:22:28.079Z INFO MainThread cluster:2935 Executing action stop on $ VMs 192.168.55.21,192.168.55.22,192.168.55.23
2023-02-01 06:22:28.079Z WARNING MainThread genesis_utils.py:311 Deprecated: use util.cluster.info.set_node_uuid() instead
2023-02-01 06:22:28.080Z INFO MainThread zookeeper_session.py:191 cluster is attempting to connect to Zookeeper
2023-02-01 06:22:28.081Z INFO Dummy-1 zookeeper_session.py:625 ZK session establishment complete, sessionId=D:185cce3d93dd0fe, negotiated timeout=20 secs
2023-02-01 06:22:28.090Z INFO MainThread cluster:2982

***** CLUSTER NAME *****
NX-Cluster

This operation will stop the Nutanix storage services and any VMs using Nutanix storage will become unavailable. Do you want to proceed? (I agree/[N]): I agree
```

6.2 CVM のシャットダウン

Nutanix クラスタを停止させたら、次は以下の手順にてすべての CVM を順番にシャットダウンします。

1. CVM から以下のコマンドを実行します。

```
$ sudo shutdown -P now
```

※本手順はすべての CVM に対して実行します

```
192.168.55.21 - Tera Term VT
nutanix@NTNX-8LG15F3-A-CVM:192.168.55.21: $ sudo shutdown -P now
```

6.3 ハイパーバイザー(AHV)のシャットダウン

CVM を停止させたら、次は以下の手順にてすべてのハイパーバイザー(AHV)を順番にシャットダウンします。

1. ハイパーバイザー(AHV)に root ユーザーで SSH ログインします。

SSH認証
ログイン中: 192.168.51.11
認証が必要です。
ユーザ名(U): root
パスワード(P): [masked]
☒ パスワードをメモリ上に記憶する(M)
☐ エージェント転送する(Q)
認証方式
☒ プレインパスワードを使う(L)
☐ RSA/DSA/ECDSA/ED25519鍵を使う
秘密鍵(K): [field]
☐ rhosts(SSH)を使う
ローカルのユーザ名(U): [field]
ホスト鍵(H): [field]
☐ キーボードインタラクティブ認証を使う(I)
☐ Pageantを使う
OK 接続断(D)

2. 以下のコマンドで CVM が停止しているか確認します。

```
# virsh list --all | grep CVM
```

CVM が「shut off」になっていれば CVM のシャットダウンが完了しています。

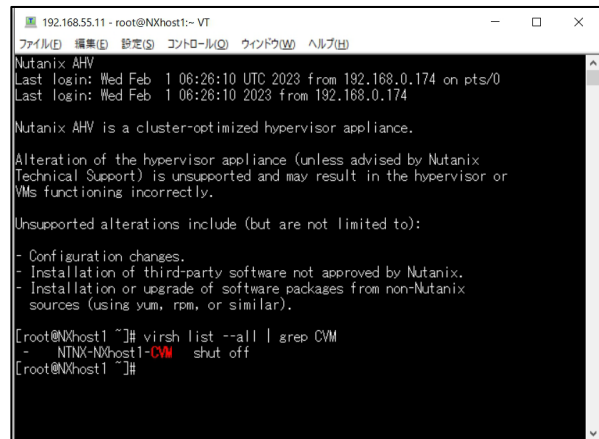
```
1 CVM ホスト名 shut off
```

↑ CVM のシャットダウンが完了しています

「running」の場合は、CVM のシャットダウン中です。しばらく待った後、再度 virsh コマンドを実行して CVM がシャットダウンされたか確認してください。

```
1 CVM ホスト名 running
```

↑ CVM のシャットダウンが完了していません



```
192.168.55.11 - root@NXhost1:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Nutanix AHV
Last login: Wed Feb  1 06:26:10 UTC 2023 from 192.168.0.174 on pts/0
Last login: Wed Feb  1 06:26:10 2023 from 192.168.0.174

Nutanix AHV is a cluster-optimized hypervisor appliance.

Alteration of the hypervisor appliance (unless advised by Nutanix
Technical Support) is unsupported and may result in the hypervisor or
VMs functioning incorrectly.

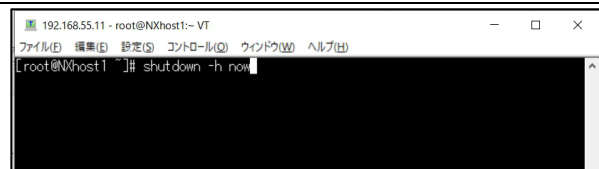
Unsupported alterations include (but are not limited to):

- Configuration changes.
- Installation of third-party software not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix
sources (using yum, rpm, or similar).

[root@NXhost1 ~]# virsh list --all | grep CVM
-   NTNX-NXhost1-CVM shut off
[root@NXhost1 ~]#
```

3. CVM が「shut off」状態になったことを確認したら、以下のコマンドでハイパーバイザー(AHV)をシャットダウンします。

```
# shutdown -h now
```

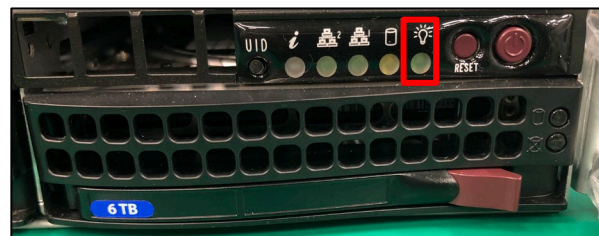


```
192.168.55.11 - root@NXhost1:~ VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
[root@NXhost1 ~]# shutdown -h now
```

4. サーバーがシャットダウンされ、電源ボタンが消灯していることを確認します。

サーバーに接続された電源ケーブルを安全に取り外せます。

※本手順はすべての AHV に対して実行します



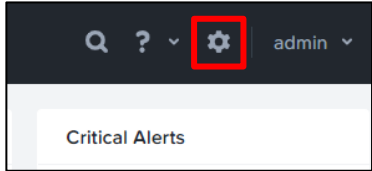
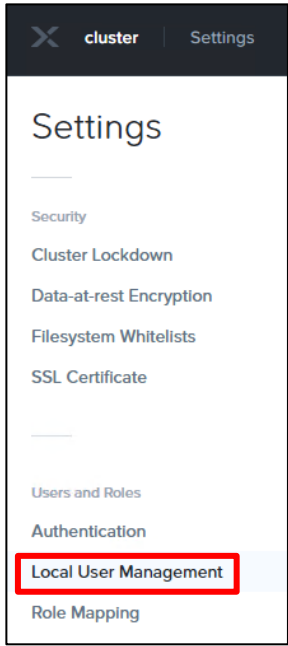
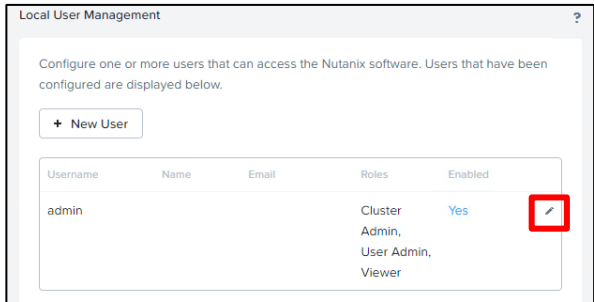
以上が Nutanix の停止手順となります。

再度 Nutanix を起動するときは本資料の「Nutanix の起動」の手順を実施してください。

7. 参考情報

7.1 Prism Element の日本語化

Prism Element の言語設定を日本語に変更することが可能です。

1. Prism Element に admin ユーザーでログイン後、画面右上の歯車アイコンをクリックします。	
2. 「Local User Management」をクリックします。	
3. admin ユーザー行の鉛筆マークをクリックします。	

4. 「First Name」、「Last Name」、「Email」を入力します。
「Language」は「ja_JP」を選択し、「Save」をクリックします。

Update User

Please edit the attributes for this user as desired. Please note that the Username is the name used to sign into the Nutanix console.

Username
admin

First Name
user

Last Name
name

Email
xxx@xxxx.xxx

Language
ja-JP

Roles
Cluster Admin, User Admin

Reset Password

Password

Back Cancel Save

5. ブラウザを再読み込みすると、Prism が日本語表示に切り替わります。



7.2 サポートポータルユーザー登録について

製品ドキュメントの閲覧やソフトウェアのダウンロードにはサポートポータルへのログインが必要になります。ログインアカウントをお持ちでない場合は、以下のマニュアルをご参照いただき、アカウントの作成をお願いします。

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-support-portal-user-account.pdf>

7.3 オーソライズド・ドメインについて

Nutanix 機器を保有するエンドユーザー様の代理で販売店様、保守会社様がサポートポータルへアクセスする場合は、エンドユーザー様によるオーソライズド・ドメインの申請が必要になります。

詳細は以下のマニュアルをご参照ください。

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-support-portal-authorized-domain.pdf>

7.4 ライセンス適用について

弊社 Foundation 作業ではライセンス適用作業は実施しておりません。

以下のマニュアルをご参照いただき、ライセンスの取得、適用をお願いします。

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-licensing.pdf>

7.5 ハイパーバイザー、CVM のパスワードについて

ハイパーバイザー、CVM の管理者アカウントのパスワードがデフォルトの場合、アラートが生成されることがあります。デフォルトのパスワードから変更される手順につきましては、以下のナレッジをご参照ください。

<https://portal.nutanix.com/kb/6153>

7.6 Nutanix 社への問い合わせについて

Nutanix 社へ技術的な問い合わせをする際は、サポートポータルまたは電話からサポートケースをオープンする必要があります。

具体的な手順については以下のマニュアルをご参照ください。

※いずれの問い合わせ方法でも、事前にサポートポータルユーザー登録が必要です

<https://www.nutanix.com/content/dam/nutanix/ja/documents/support/doc-support-portal-case-management.pdf>

7.7 Nutanix リンク集

■ 日本語サポートドキュメント一覧

<https://www.nutanix.com/jp/support-services/product-support/support-documentation>

■ 各種ソフトウェアのダウンロード ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/downloads/>

■ 各種ソフトウェアドキュメント ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/documents/list?type=software>

■ Compatibility and Interoperability Matrix

ハードウェア、AOS、ハイパーバイザーの互換性情報 ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/documents/compatibility-interoperability-matrix>

- Upgrade Paths

AOS、Prism Central などのアップグレードパス情報 ※要サポートポータルログイン

<https://portal.nutanix.com/page/documents/upgrade-paths>

- ハードウェア仕様

<https://portal.nutanix.com/page/documents/list?type=compatibilityList>

8. 改訂履歴

Rev	修正年月日	内容	作成者
1.0	2023/2/16	・新規作成	ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社
2.0	2024/7/1	・AOS 6.5 に対応	ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社